

協定金の額に関する算定方法

多様な主体によるスタートアップ支援展開事業に基づく協定事業の実施に関する協定書第9条（協定金の額の決定）にいう「別途定める方法」について、以下のとおり定める。

1 定義

次に掲げる用語の定義は、それぞれ各項目において定めるところによる。

- (1) 最終評価額 本協定において、甲が乙に対し支払う協定金の額をいう。
- (2) 定量評価額 アウトプット KPI とアウトカム KPI のそれぞれについて、最終評価額算定の基礎として、KPI 評価委員会による定量評価を受けて甲が算定する額をいう。
- (3) 基準額 アウトプット KPI とアウトカム KPI のそれぞれについて、定量評価額算定の基礎として、乙が企画した内容に対して、審査委員会による審査結果を受けて甲が算定する額をいう。
- (4) 見積額 基準額算定の基礎となる額をいい、アウトプット KPI については、KPI 項目ごとに乙が見積もった額とし、アウトカム KPI については、KPI 項目全体で 60,000 千円とする。
- (5) 達成率 アウトプット KPI とアウトカム KPI のそれぞれについて、KPI 項目ごとに、「KPI 評価委員会で認定された実績値÷乙が設定した目標値」の算式によって算出される割合をいう。ただし、100%を上限とする。
- (6) 定性評価係数 アウトカム KPI について、KPI 評価委員会による定性評価に連動して甲が設定する係数をいう。

2 基準額の算定方法

- (1) アウトプット基準額は、KPI 項目ごとに、見積額から審査委員会において不適当とされた額を除いた額を合計した額と、240,000 千円のいずれか低い額とする。
- (2) アウトカム基準額は、審査委員会によるアウトカム KPI に対する審査結果に連動して、「見積額×得点÷配点」の算式によって算出される額とする。

3 評価額の算定方法

- (1) アウトプット定量評価額は、KPI 項目ごとに、「見積額×達成率」の算式によって算出される額を合計した額と、基準額のいずれか低い額とする。

ただし、アウトプット定量評価額の上限額は、令和8年度及び令和9年度それぞれ 100,000 千円、140,000 千円とする。

なお、令和8年度の評価額算定にあたり、アウトプット評価額が上限を満たさなかった場合、その差額を翌年度に繰越すことはできない。

(2) アウトカム定量評価額は、KPI 項目ごとに、「基準額÷KPI 項目数×達成率」の算式によって算出される額を合計した額とする。

(3) 最終評価額は、「アウトプット定量評価額+アウトカム定量評価額×定性評価係数」の算式によって算出される額と、300,000 千円のいずれか低い額とする。

ただし、「アウトカム定量評価額×定性評価係数」の算式によって算出される額は、60,000 千円を上限とする。

4 端数の取扱い

2 及び 3 の各規定により得られた金額に千円未満の端数が生じる場合は、当該端数を切り上げた金額を算定結果とする。